

【会議録】

会 議 名	第3回港区子育てひろば（あっぴい新橋）運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和5年12月26日（火） 午前10時00分から午前11時00分まで
開 催 場 所	芝地区総合支所会議室
委 員	（出席者）岡田委員長、岩崎副委員長、安梅委員、請川委員、石原委員 （欠席者）なし
事 務 局	芝地区総合支所管理課長 小野口、施設運営担当係長 久保田
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題 議題1 第二次審査 議題2 第二次審査結果及び運営事業候補者の選定について 3 その他 4 閉会
配 付 資 料	資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表 資料3 第一次審査・第二次審査採点集計表（※採点終了後、机上配布） 資料4 第2回港区子育てひろば（あっぴい麻布）運営事業候補者選考委員会 会議録（案） 参考資料 第一次審査（書類選考）結果集計表
会議の結果及び主要な発言	
	1 開会  2 議題審議 議題1 第二次審査 A事業者（プレゼンテーション15分間、質疑応答15分間）
委員長	それでは、ヒアリングに入ります。
B委員	長いキャリアの中で、今まで実現できなかったこと、キャリアを経てしても、それは何で、それを解決するためにこれからどんなことを、やりたいと考えていますか。
A事業者（施設長候補者）	いろいろなことにチャレンジさせてもらいました。すべてのことを満足っていうことではなく、保育は日々変わってきますので、後輩たちを育てていくということが、今まで私はやってこなかった分野であったので、施設長という立場で今後やっていきたいと思っています。先輩が多く、リーダー的な存在でやっても、保育園で自分のクラスをやることの方が、先輩に相談してということが多かったように思います。
B委員	具体的にはどんなふうにやっていきたいですか。
A事業者（施設長候補者）	職員自体が若い新卒がたくさん入ってくるので、社会人として社会で活躍してい

設長候補者)	く、或いは保護者との向き合い方で、言葉がけをしていくのか、保育を組み立てていくのかということも含めて、一緒に教えていけたらいいと思います。
C委員	保育の見える化は、私も大事だと思っています。普段の保育の様子見ていただくために、掲示物を作ったり、アプリを使って配信とかということもあるかと思いますが、そのための職員の事務時間はきちんと確保されているのかどうか。子どもとの時間だけではなくて作業、教材を作る時間がきちんと確保されているのかということをお伺いしたい。
A事業者（施設長候補者）	作業する時間は確保しています。全時間、1日の中で、すべての時間が、子どもたちとの時間がすべてではない。朝の早い時間や夕方の遅い時間は時間が取れるので、それぞれの職員が優先順位を考えている。
C委員	時間を適宜見ているということですね。休憩時間は確保されてると思うんですが、休憩時間以外にそういう事務時間を勤務時間でとるのは子どもたちの利用の様子を見ながら、空いてるところで行うということですね。その時間の取りやすさ、取りにくさを施設長としての工夫をお伺いしたい。
A事業者（施設長候補者）	1日8時間の勤務を努力で7時間55分で、5分間の時間を余裕を作って10人いれば50分の時間をみんなで分け合って大切に使うというのは、ずっと施設で行っています。
C委員	子育てひろばは、利用が保育所と違って毎日というわけではないので、一期一会というところで、そこでの子どもの理解をしっかりと書かれています。保育所保育士と子育て支援の場での幼児理解の違いは、どういう工夫をされたりお考えでしょうか。
A事業者（施設長候補者）	長い時間をかけて理解する関係づくりをしていくことができないので、今日1日完結ってような関わりの中で、やはり丁寧に関わることを一番大事にしています。そこで過ごす子どもたちがどれだけ楽しい時間を過ごせるのかということ、保護者の方に見てもらえることが一番の安心材料なのかなと思っています。それを経てリピートされたりする中で、関係性もっと深く築いていけると思っている、まずは安心で楽しい時間を共有したいと思っています。
C委員	保護者は1回しか来ないと、ちょっと仲間に入りにくいとか、子どもたちがけんかすることが起きないかという心配も保護者はしていると思うのですが、保護者へのアプローチは何かありますか。
A事業者（施設長候補者）	その日の出来事はお迎えのときに話しますし、子どもたちが泣いて入ってきたときに、帰りは絶対に泣かずに返そうという思いで、最長5時間の関わりをするので、その姿を見ていただければお母さんの感じも、変わってくるのかなという活動をします。例えば作ったものを見せたり、子どもたちが自分で楽しそうにしている姿を見せたりすることで、信頼してもらおう部分は出てくるのかなと感じています。
E委員	これまでどういうことに取り組んできて、地域性ですとか、今までやってきたことの課題を踏まえて、今後は利用率向上に向けての取り組みをどう考えたのか、具体的に利用率向上に繋がる取り組みを教えてくださいませんか。
A事業者（施設長候補者）	一番初めに取り組んだのは、チラシを作って、自分たちの施設を知ってもらおうということでした。やはり子育て世帯が少ないことで、どこで配ればチラシを手にとっていただけるのだろうというところからのスタートでした。地域性や配る場所を職員全員でいろんなところに出かけて探しました。一時預かりに関しまして

	<p>は、区外の方も県外の方も海外の方もご利用いただけるということなので、そういう人たちに向けてのアプローチが最初です。少しずつ利用率も上がってきましたので、お母さんたちの口コミであったり、あとは同じ園に通ってらっしゃる方同士がここで出会って、また違う子どもたちに紹介していただけました。今年度始めたのは、イベントに力を入れて0歳児対象、お父さん対象、外国人の人も来ていただいて、日本の文化を題材に離乳食講座をしました。離乳食の中でだしのとり方であったり、こういうふう子どもと関わってということをするので、一時預かりの方にも預けてもらうようになっています。それから登録をしないと利用ができないのですが、次のイベントとセットで登録説明会を実施するようにしています。ホームページやブログで施設の紹介をしたり、いろいろなイベントをやっていますということを広く知ってもらえるような取り組みをしています。</p>
A事業者	<p>補足なんですけど、チラシに関しては近隣の病院ですね、産婦人科ですとか、女性向けのハローワーク、そういったところにもチラシを置かせていただくことをさせていただきまして、その効果はかなりあったと思っております。</p>
E委員	<p>チラシを作成したり、新たなイベントをやっていく中で、具体的に利用率はどのくらいからどのくらいに増えたのですか。</p>
A事業者	<p>当社が運営しているあっぱい全体の中での平均になるんですが、昨年度比40%増の受け付け予約数です。平均ですと一番高いところだと58%が11月末時点での数字です。</p>
E委員	<p>コロナ禍からの回復事業もあったとは思いますが、これまでにプラスして今後はこういった取り組みをされるのでしょうか。</p>
A事業者	<p>予約がなかなか取りにくいという部分が課題としてはありまして、安全面の理由から預かり人数というのが決まっている中で、キャンセル待ちが出たときにいかに迅速に、保護者の方にお伝えをするかというところで、出た段階でお待ちの方には速やかに連絡をするですとか、受け付けとお迎え時に清算をしていただくシステムになっていますので、そういったところでなるべく時間を短縮でき、簡素化にしていくことで、お預けをする、お迎えに来るといところでお母さんに負担がかからないようにするというところも課題としてはあるので、そういう部分は今、力を入れているところです。今後については、現状が全てではなくて、さらに増やしていくということがテーマとして挙げさせていただいております。まず一番初めに始めたチラシ配布というところも、エリアを拡大するというところと、違う視点で、これから出産をされる方向けのところにも力を入れてPRをしていければと思っています。どうしてもお子さんを産んだ後のところに目が行きがちですけども、これから出産を迎えるという層にも力を入れてPRをしていければと思っています。</p>
D委員	<p>施設の運営にあたってというところで、コンプライアンスの遵守。その中で不信感を与えないという、このことについて教えていただきたい。</p>
A事業者（施設長候補者）	<p>職員の言葉の使い方、その時の対応であったり、本来伝えなければならないことを答えられなくて、そういうところがクローズアップされないための言葉であったり、対応の仕方を全職員で同じ対応ができるように研修をしています。</p>
D委員	<p>言葉ということが、最初に出てきたんですが、何で言葉と思ったのですか。</p>
A事業者（施設長候補者）	<p>誤解を招きやすいことも言葉であったり、態度であったりすると思いますし、何か引っかかるというのは、そのことがあると思うので、相手の立場に立って、それを言われたときにどう思うだろうと考えながら、対応しています。</p>

D委員	施設の中でヒヤリハットがある。これを共有する報告しやすく仕組みですね。職員間で何か研究するようなことについて、教えていただければと思います。
A事業者（施設長候補者）	ヒヤリハットは、もう気づいたときにたくさん出すように職員には、いつも手に取れるような、ちょっとしたメモで書けるような用紙を用意しています。朝礼終礼を毎日しています。シフトで会えないこともありますので、記入した用紙を見ながら、こういうところが危険だということで、安全管理員がいるのですが、その係の人たちが、集計を出して、今月ここでけがが多かった、転倒が多かったと、危険な箇所がある、おもちゃが落ちやすいという共有は必ずするようにしています。それは朝礼、終礼もしますし、会議のときも1ヶ月の集計を出してやっています。
A委員	先ほど後輩を育てるということがなかなかできなかった。施設長になってから平成29年からということで、6、7年経ちます。その間で施設長として職員を育てるとか、何か努力はされてきましたか。
A事業者（施設長候補者）	できるだけ職員の方と言葉を交わすように、そのために朝礼を始めました。必ず何か言葉を交わして、何か困ったことがあれば、その日のうちに解決します。困ったことがあれば相談できる相手だけに話しましょうということを決めて、多分相手は私だと思うのですが、もやもやを残したまま、その日1日を過ごさない。うちに持って帰らないというような関係づくりをやっています。
A委員	提案書の穏やかな担当制度、穏やかな担当制保育という項目があって、文面だけだとわかりづらいのですが、具体的に穏やかな担当制というのはどういうことですか。
A事業者	法人が運営している保育園に対しての考え方なのですが、子どもたちにとって、保育士職員というのは、とても重要な存在になりますので日替わりで変わったりとか、担当によって変わってしまうということではなく、子どもたちと信頼関係を築いていくための存在、それがすなわち担当ですよ、という位置付けにして、担当制という言葉を引きいています。あっぱいに関しては保育園とは異なるのですが、子どもと保育士が向き合う、接するっていうところは、保育園と同じような考え方になりますので、そういう部分で、提案書の方に記載させていただいたところ です。
A委員	勤務体制のところを見ますと、ひろば職員が4名増。1月が13名。施設が一時預かり所的な感じになってしまっていると感じます。そういう点ではこのひろばについて、今後どういうふうに募集を増やしていくのかということを確認させていただきたい。
A事業者	この配置というところに関しまして一時預かりの方が多くなっている部分はありませんが、定員が30名という一時預かりの定員がありまして、その中で日々予約を取って、職員は必ず週の中で2回休みを取らなければいけないので、予約を取っていく兼ね合いの中では、一時預かりの職員を多くしています。これはひろばを軽んじているわけではなくて、先ほどもお話をさせていただいたように、1日の運営の中でコアタイムとそうではない時間体がありますので、一時預かりと明記されている職員もひろばの方に回りまして、保護者とのコミュニケーションをとったり、業務を行っております。また、ひろばの利用が多くなっているときには、保育の方からひろばの方に職員が臨機応変に動いてくるという形になりますので、配置上の部分でこう表記をさせていただいております。この通りで保育しかやりません、ひろばはやりませんということではないということをご理解いただければと思います。

A委員	これだけ一時預かりをしている職員が同時にいるわけですから、そこで施設長としてどういった点に配慮するのか、そこをお聞かせいただきたい。
A事業者（施設長候補者）	保育自体は、縦割り保育になるので、けがのないように、安全にというところが第1条件になってきます。部屋を分けてみたり、前日の5時半には子どもたちの名前が出揃いますので、明日、何をするかというのを考えながら、安全に、新卒の職員たちが分からない中でも動ける。職員の立ち位置を一緒に考えていくようにしています。
A委員	安全上のことをお話しいただいたんですが、一時預かりをしている中で、今まで施設長候補者の方が、ヒヤリハット経験ですね。最も大きなヒヤリハットはどういうことですか。
A事業者（施設長候補者）	思いもよらないことですけれど、安全だろうと思っていたおもちゃであったり、パーティーだったんですが、周りで体操をしていた子どもの1人があまりの嬉しさの興奮で、パーティーに自分から突っ込んでいったということがあり、これはどんなふうに使ったらいいんだろうとか、どんな置き方をしたらいいんだろうかと考えて、その日の内に部屋を作り変えるという作業をしました。それが一番大きかったんですが、それから先もずっとやっています。子ども達の預かりのニーズに合わせた部屋作りというのが一番大事かなというふうに思います。
委員長	それでは事業者の方によるプレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。事業者の皆さんどうもありがとうございました。
	(採点)
	議題2 第二次審査結果及び運営事業候補者の選定について
委員長	採点の集計結果について事務局から説明をお願いいたします。
事務局	A事業者、第一次審査が786点、第二次審査が376点、合計1,162点です。
委員長	それでは、この点数を受けまして、各委員の皆様からご講評をお願いし、内容を審議いたします。
B委員	どの施設も園長のパッションとリーダーシップというのはすごく大事です。書類ではとてもいいかなと思ったのですが、今日の施設長候補の方のお話を伺いまして、ショックを受けました。7年間も施設長経験があり、後輩を育成してこなかったと言ってしまうということ自体がどういうことなのだろう。本部の方が指導して施設長は、ただいるだけなのか。そうするといい施設にはなりませんので、その辺が大きな懸念材料と考えました。他の部分は、経験があるということで随分、しっかりと対応されていたという印象です。以上です。
C委員	1次審査と2次審査合計で考えますとお任せできるA事業者かなということをもまず感じました。面接に関して言います。一時預かりと子育てひろばがあるのですが、一時預かりの方に比重が多くかかっているのかと。子育てひろばを利用してもらうことで、また一時預かりにも繋がるのではないかと感じはしています。ひろばのところで、保護者さんへの関わりのことを施設長に伺いましたけれども、ちょっと物足りないかなと、もう少し初めて訪れる方やお母さんをうまくフォローしてあげることで、また一時預かりをしてみようかというところに繋がるのではないかと考えたのですが、もう少し保護者さんへの関わりを丁寧にされた方がいいのではないかとということで、質問しましたが、物足りなかったので、点数を低

	くしました。全体的には問題ないと思います。
E委員	全体通して、十分お任せできるレベルにあると思っています。施設利用率の向上は何かについて質問をしましたが、現状をとらえながら、よりよくしていきたいと感じましたし、施設長の方も一部、人材育成の不安という部分もありましたが、前向きに取り組んでいただけることを期待しました。
D委員	施設の運営とか規制の考え方については、十分というふうに思いました。施設長候補者の考え方のところで迷いました。後輩を育ててこなかったという発言があったときは、私も非常にショックを受けました。そのあとの質問については、自分の言葉で話しているところ、自分の場合だと思う。と話しているところが見えたので、期待を込めました。
A委員	施設長候補者の方、真面目な方ではあるのですが、話を聞くと現状維持で精一杯なのか。そういう方がリーダーになって、今後の事業の実現ということを考えたときに、もちろん悪くはならないのですが、発展性というのは感じ取ることができなかった。ただ本部のバックアップがしっかりしているということで、バックアップに支えられて、運営していかれると思います。任せて良い施設だと思うのですけれども、ただ、今回1者ということですから、今後への展望としてひろばの定員増ということをもう一度お願いしたいと思います。一時預かりが多くなると不適切保育というような問題も危惧されるので、そういったことを踏まえて施設長候補者の方に、職員間の管理指導というのをぜひしっかりしていただきたいと思います。以上です。
委員長	委員の皆さん点数等の変更はございますでしょうか。  (意見なし)
委員長	それでは、第一次審査、第二次審査合計点数及び順位を発表いたします。 1位、A事業者、合計点数1,162点 よって、港区子育てひろば(あっぴい新橋)の運営事業候補者は1位のA事業者でよろしいでしょうか。  (異議なし)
委員長	それでは、当委員会として、港区子育てひろば(あっぴい新橋)運営事業候補者は、A事業者に選考いたします。
事務局	事業者名を発表いたします。港区子育てひろば(あっぴい新橋)運営事業候補者として決定したA事業者は、株式会社アソシエ・インターナショナルです。  3 その他  4 閉会 (委員長閉会のあいさつ)